

かけはし

WELFARE INFORMATION

■編集発行／社会福祉法人養父市社会福祉協議会 〒667-0022 養父市八鹿町下網場320（地域交流センター「福祉の杜」）
平成27年3月13日発行 ■電話（079）662-0160 ■FAX（079）662-0161 ■E-Mail yabu-shakyo@fureai-net.tv
■ホームページ <http://www.yabu-shakyo.jp/>

健康づくり地域づくりの輪を広げよう！



「介護予防サポーター研修」 修了生フォローアップ研修

▲声を出しながら肩をたたき、健康度をチェックするレクリエーションを教わりました

▶同研修を受けて地域活動につながった4人の方から実践発表がありました（=2月27日、八鹿公民館）

介護予防サポーター研修修了生によるフォローアップ研修を2月27日、八鹿公民館で開催しました。

この日は、養父市と社協が共催した「介護予防サポーター研修」の修了生304人のうち64人が集まり、地域で役立つレクリエーションを学んだり、実践活動の発表を聞いたりして交流しました。

研修では、「なごみの会」山田富美子さん（伊佐）、「ひだまり会」片岡なつ子さん（上箇）、「琴弾きの会」藤岡勝子さん（宮垣）、「いきいきサロン 関宮支援ボランティア」藤原洋子さん（大谷）の4人から、それぞれ発表がありました。

身近な地域で年6回ふれあい喫茶を開催している発表を聞き「自分の地域でもっと頑張ろうという気持ちになりました」と参加者。

「男性の参加が少ないのでどうすればいいか」「一人では活動できないので、地元からもっとこの研修を受ける人が増えたらうれしい」など、現在の活動を振り返るきっかけとなりました。

特集 繰り返し起こる災害に備えて

東日本大震災から4年が経過しました。この間も、さまざまな自然災害が繰り返し発生し、全国各地に大きな被害をもたらしています。社会福祉協議会は、ひとたび災害が起これば、「災害ボランティアセンター」(以下、災害ボラセンと記載)を立ち上げ、行政ほか関係機関、NPOなどと連携して災害復旧、復興支援活動を行っています。また、近年、災害時に要援護者を支援する住民主体の活動も広がりを見せています。これら二つに共通するのは、災害時だけにとどまらない、平時からのお互いのつながりづくりが重要だという点です。今回は、災害に備える二つの活動についてお知らせします。

「災害ボラセン運営マニュアル」の策定が始まる

現在、養父市社協では、万一の災害発生時に、スムーズな災害ボラセンの立ち上げと運営ができるよう「災害ボラセン運営マニュアル」づくりに取り組んでいます。

このマニュアルは、社協職員のほか、養父市役所の危機管理室、社会福祉課の職員も策定メンバーに入り、現状の課題を確認したり、職員個々の問題意識を見つめ直したりするグループワークを重ねながら策定を進めています。

策定作業に入る前に「誰のために、何のために災害ボラセンを運営するのか」を問い直す研修会を実施。

ただ、復旧のための作業をコーディネートするだけでなく、一人ひとりの被災者・要援護者の想いに寄り添いつつ、地域が本来持つさまざまな力やつながりをささえていく視点を確認しました。

その後、養父市防災監の西田氏から、当市に予想される災害発生時の状況や、防災上留意する点を学んだり、市役所と社協の災害発生時の動きをお互いに確認したりしながら策定を進めています。

会議の中で重要だと確認される点は、やはり「普段からの連携や顔の見える関係づくり」。市役所や関係機関、そして何より、福祉連絡会など地域のみなさんと、災害発生



▲策定会議の様子。養父市に合った「養父市版の」マニュアルづくりをめざします(=2月24日、養父市社協「福祉の社」)

時をイメージしつつも、日常の暮らしの中で協力し合う体制づくりをすすめていくことが大切と感じています。

「災害時要援護者サポートミーティング」で筏区が実践報告

災害時に援護が必要な人への支援について、法の改正や施策の策定など、取組みが進められています。

阪神・淡路大震災から20年の節目に、市町村を越えて課題を共有し、解決に向けた取り組みの促進を図ることを目的に「災害時要援護者サポートミーティング」が2月11日神戸市で開催され、県内全域から自主防災組織や民生委員・児童委員、福祉関係者、市町担当者など約200人が参加しました。

地域からの実践報告として、大屋町筏区福祉委員の中尾和美さんが、「減災につながる日頃のささえあい活動」



▶普段からの声かけや見守り、交流事業などを話す中尾さん

福祉活動の取組みを報告しました。

このほか講演やパネルディスカッションがあり、平時の地域福祉活動が災害時に大きな役割を果たすことや、減災「コミュニティ」を目指すことの大切さを確認した研修となりました。



▲東日本大震災で甚大な被害があった石巻市での取組みも報告されました(=2月11日、神戸市六甲荘)

と題して福祉防災マップの作成など養父市での仕組み、筏区の普段からのささえあいの仕組みや台風時の避難など、小地域

平成26年度 歳末たすけあい運動報告

募金総額 3,003,451 円

昨年12月から歳末たすけあい運動が始まり、市民の皆さまのあたたかいご協力により3,003,451円（前年度実績3,096,874円、前年度比96.9%）の募金が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

お寄せいただきました募金は、下記のように活用しました。

見舞金贈呈事業

1,180,000 円

- ・要援護世帯 136人（81世帯）
- ・障がい者（児） 100人

経済的に支援を必要とする世帯、在宅で障がい者福祉施設等に通う障がい者・児に配分しました。

家事援助サービス事業

80,000 円

- ・実施世帯 16世帯

市内業者と委託契約し、ひとり暮らし高齢者、高齢夫婦、障がい者世帯に、自分で作業することが困難な方を対象に、年末の窓拭きや障子の張り替えなどを実施しました。（経済的に支援が必要と思われる世帯が対象）

▶手際のいいプロの仕事で
新年を気持ちよく迎えられ
ました（全戸建装）



【収入】

内 訳	金 額	備 考
戸 別 募 金	2,856,201	7,119 世帯
指 定 預 託	126,556	5 件
前 年 度 繰 越 金	20,694	平成25年度事業繰越金
合 計	3,003,451	

【支出】

内 訳	金 額	備 考
要 援 護 世 帯	680,000	81 世帯 136 人
障 が い 者 (児)	500,000	100 人
地 域 ふ れ あ い 事 業	1,355,000	95 行政区
家 事 援 助 サ ー ビ ス	80,000	16 世帯
子 育 て サ ロ ン	51,487	6 ケ 所
配 分 経 費	194,153	消耗品、郵便料等
繰 越 金	142,811	平成27年度事業繰越金
合 計	3,003,451	

年末年始地域ふれあい事業

1,355,000 円

- ・実施区 95行政区

住民が主体となって地域で行うサロンや異世代交流、友愛訪問、福祉に関する学習会などに配分しました。

▶慣れない手つきで子どもたちも一緒にそば粉を打ちました（高柳谷区）



子育てサロン事業

51,487 円

- ・実施サロン 6ヶ所

子育て中の親子が気軽に集まり交流を深める子育てサロンに配分しました。

▶普段の活動とは違うクリスマス会にサンタも登場して大盛り上がりでした（手作り広場ほわ）



ふれあい事業のアンケートから

メッセージを添えた鉢植えを持って普段あまり交流のないひとり暮らし宅を子どもたちが友愛訪問をしたことで、自分の地域にどんな人が住んでいるのかを知る機会になったと思います。



集まれ！支部社協

八鹿支部

養父市八鹿町下網場320 地域交流センター「福祉の杜」 TEL: 662-0160 FAX: 662-0161

まるいお好み焼きのように 輪になって岩崎区親睦会



2月3日、岩崎公民館で、見守りと交流の場として、岩崎区親睦会が開催されました。

今年で3回目となる同会

は、区民全員を対象に開かれ30人が参加しました。女性を中心としたスタッフが腕をふるい、自慢のふわふわとしたお好み焼きでもてなし。参加者はおいしい食事に舌鼓をうちながら、世間話にも花を咲かせていました。食事のあとはビンゴ大会を行い、軽快な音楽が鳴るなか「そろったわ」「まぐええなあ。リーチはっかりであたらんわ」など、楽しげに話しながら一日を過ごしていました。

中島幹夫区長は「小集落で高齢化が進む区ですが、今日は高齢者のほとんどが参加されました」と笑顔。スタッフからは「みなさん帰るのが名残おしそうです

た。今後、こうやって気軽に集える場が定期的になかないか考え、相談していきたいです」と今後の目標を話していました。



▶参加者は暖かい部屋で、会話を楽しんでいました(2月3日、岩崎公民館)

養父支部

養父市広谷251-1 TEL: 664-1142 FAX: 664-2181

「安心地区」
整備推進事業

怒らなくても伝わるしつけ 子育て力アップセミナー

子どもとの関わり方やしつけの方法を学ぶ「子育て力アップセミナー」を2月28日、やぶ保健センターで開催し、子育て中の親など34人が参加しました。

この日は、市教育委員会子ども育成課の川崎昌子主幹を講師に招き、怒らない子育て「コモンセンスペアレンティング(CSP)」について講演を行いました。

川崎さんは「しつけとは、親の愛情を伝える方法です」と説明。「しつけのためには、子どもにわかりやすくコミュニケーションをとる必要があります」子どもに『お店に行った時は、いい子にしてよ』といった、あいまいな表現ではなく、『お店に行った時はお菓子は買いませんよ。お買い物を手伝ってね』と具体的に簡潔に伝えましょう」と例を挙げて話しました。

最後に「しつけで一番大事なことは、親が感情的にならず、常に落ち着いて、ほめて育てることです」と締めくくりました。

参加者は「今まで感覚で子育てをしていましたが、今日の話聞いて少し自信が持てました」。「父としてしつけは力技でやるものと勘違いしていました。これからは、子どもをほめてよいところを伸ばしてやりたいです」と感想を述べていました。



▲しつけの方法についてDVD教材を活用しながら分かりやすく説明されました(2月28日、やぶ保健センター)

大屋支部

養父市大屋町加保678-1 大屋保健センター内 TEL: 669-1598 FAX: 669-0093



▲参加者はそれぞれ餅をついたり、餅花を作ったりして、交流しました（=1月25日、大屋市場公民館）

大屋市場区では「お」と声かけ「お互いに助け合いやさしい町づくりで笑顔い「おほん」をスローガンとして福祉活動に取り組んでいます。

冬場は外出する機会が減るため、区民の交流の場をつくろうと、今年も「地域ふれあい事業」として1月25日に餅つき大会を実施。

同区公民館に40人が集まり、杵と臼でついた餅を食べながら、会話を弾ませていました。

大屋市場区

笑顔が広がる地域づくり
餅つきと訪問事業で区民がふれあおう



▲「いつもありがとう。これからもよろしくね」（=2月3日、大屋市場区内）

2月3日の節分には、福祉連絡会のメンバーが80歳以上の高齢者74人へ友愛訪問。

「お体変わりないですか」「困ったことがあればいつでも言ってくださいね」など声を掛けながら、恵方巻きと福豆を届けました。

福祉委員代表の林田忠さんは「餅つきでは、皆さん楽しんでいただき爽やかな交流となりました。友愛訪問も、高齢者の元気な顔が拝見できて安心しました」と話していました。

関宮支部

養父市関宮193 関宮ふれあいの郷内 TEL: 667-3248 FAX: 667-3351



▲「夕食何を食べたか覚えていますか？」（=2月24日、関宮ふれあいの郷）

「昨日夕ご飯、何を食べたか思い出せないのは単なる物忘れ、食べたことを忘れるのは心配な物忘れです」。2月24日関宮ふれあいの郷でひとり暮らし高齢者の当事者組織「ほのぼの会」（藤原重孝代表）の例会が行われ、23人の参加者に養父市地域包括支援センター谷垣知美保健師が認知症予防について話しました。

谷垣保健師は「認知症予防には①脳を動かすために体を動かす②適量の動物性たんぱく質を摂る③脳を活性化させるデュアルタスク

認知症予防には「デュアルタスク」
ほのぼの会に保健師が訪問

（2つの動作を同時に行う）を実践。お湯を沸かしながら野菜を切る、歌詞を見ながら歌うなど、今やっている事を続けることが大切です」と話しました。

この後参加者は脚上げや体を伸ばすなど、椅子に座ったままできる体操を教わり、また、隣の席の人に数を数えながら丸めたタオルを回していく頭の体操では、タオルがスムーズに進まずみんなで大笑をしました。

参加者は「電灯の紐を短くして普段から体を伸ばしとるで」「いい体操を教えてくださいましたので家でしてみます」と話していました。



▲タオルを使った体操をする参加者。「体をねじるとぬくもったわ」



～介護福祉課からこんにちは～

No.26

訪問介護事業所で



養父市社会福祉協議会の福祉目標「ささえあう心で 笑顔あふれる 福祉のまちづくり～みんなでつくる みんなのしあわせ～」のもと、訪問介護事業所では、「在宅生活を支えることができるヘルパー」を目標として業務に取り組んでいます。

そして、本人、家族からの様々なニーズに対応できるように本人の状態や状況を確認・共有したり、ワークショップで地域の課題やその解決策について話し合い、本人が自宅でできる限り過ごせるよう日々努めています。

介護や福祉の制度、その他いろいろな困りごとや心配ごと等どんなことでもご相談下さい。



▲現在の養父市の地域課題を出し合い、ヘルパーができる解決策を検討しました(=2月19日、福祉の杜)

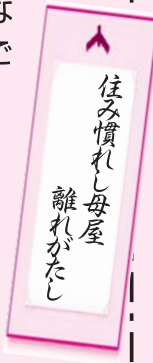
【問い合わせ先】

養父市社会福祉協議会
訪問介護事業所

養父市八鹿町下網場 320 番地
福祉の杜 2 階
電話：662-0666

【ある日のヘルパーの出来事】

近々施設入所が決まったAさん宅を訪問し、一緒に話をしながら洗濯物を畳んでいました。Aさんが私の横に座り「住み慣れし母屋 離れがたし」と筆を走らせました。何か言う訳でもなくうなずくAさん。いろいろな気持ちを自分で整理されていることが伺えました。「住み慣れた家での生活を支える」ヘルパー支援について深く考えさせられる一場面でした。



「アイフェスタ2015in豊岡」の開催

日本網膜色素変性症協会兵庫県支部から、目が見えない方や見えにくい方のための総合福祉機器展として開催する「アイフェスタ 2015 in 豊岡」の案内が届きました。福祉機器の展示に加えて、各種相談コーナーや見えにくい方でも参加できるヨガ体験などもあります。

- 日 時：平成27年3月29日(日) 10:30～15:30
- 場 所：豊岡市民プラザ 市民活動室
- 入 場 料：無料
- 予約方法：各種相談コーナー・ヨガ体験は、予約が必要のため下記へご連絡ください。

《お問合せ》

日本網膜色素変性症協会兵庫支部
Eメール jrpshyogo@rmail.com (受信専用)
担当 下井(090-8825-9099) 山根(090-5978-3412)

場 所	日 時	場 所	日 時	場 所	日 時	場 所	日 時
伊佐ふれあい倶楽部	4月6日(月) 10:00～11:30	高柳ふれあい倶楽部	3月25日(水) 10:00～11:30	関宮ふれあいの郷	3月23日(月) 10:00～11:30	サロンそよ風	4月6日(日) 10:00～11:30
伊佐ふれあい倶楽部	4月6日(月) 10:00～11:30	高柳ふれあい倶楽部	3月25日(水) 10:00～11:30	関宮ふれあいの郷	3月23日(月) 10:00～11:30	サロンそよ風	4月6日(日) 10:00～11:30

場 所	日 時	場 所	日 時	場 所	日 時	場 所	日 時
健康増進施設軒下	4月24日(金) 14:30～16:30	公園	3月28日(土) 10:00～15:00	はさまじり山の森	3月28日(土) 10:00～15:00	三宅団地集会所	4月14日(火) 10:00～11:30
健康増進施設軒下	4月24日(金) 14:30～16:30	公園	3月28日(土) 10:00～15:00	はさまじり山の森	3月28日(土) 10:00～15:00	三宅団地集会所	4月14日(火) 10:00～11:30

子育てサロン・放課後プレパークの案内



今月の かけはしさん



中尾 一夫さん
(相 地)

現在、区の福祉委員と社協のいきいきサロン送迎ボランティアをしています。区では「ふれあい喫茶」を通して子どもから高齢者までふれあい、交流ができるようにしています。独居・高齢者家族への声かけや安否確認などを地域全体で取り組み、子どもの声がして高齢者が元気に暮らす安心安全な住みよい地域になればと思つて活動しています。

また、サロンでは80、90代の方々を送迎しています。「元気で楽しく」参加しておられる姿を見ると「僕も頑張らな」と思つて気持ちが湧いてきます。

善意銀行だより

平成27年1月16日〜平成27年2月15日 (敬称略)

預託者のご了承をいただいた方のみ寄附金額を掲載しています
養父市善意銀行へ寄付金の預託をされた方は寄付金控除を受けられる場合があります

▼香典返し

堀 畑	朝熊 英昭	30,000円
広谷一 区	林 工	30,000円
養父市場	石田 富洋	30,000円
新 津	田村 久夫	30,000円
小 城	谷岡 泰好	50,000円
広谷二 区	米田 稔	30,000円
上 箇	安立 國夫	30,000円
伊 豆	政清 孝司	30,000円
上 箇	藤原 修三	50,000円
宮 垣	谷垣 重俊	50,000円
上 箇	正垣 秀雄	30,000円
三 宅	佐藤 正己	50,000円
匿 名	1人	10,000円

▼善意の寄附

下八木区民一同	5,360円
匿 名332回	5,000円
匿 名	1人

▼物品の寄附

朝倉 中島 光子
マフラー
伊豆 政清 孝司
紙おむつ おしりふき
中間 村上ちず代
白菜
栗ノ下 井原 弘志
紙おむつ 経腸栄養剤
タオル
糸原 栗田 章
文旦
糸原 正垣 秀雄
紙おむつ
匿 名 4人
紙おむつ シーツ
ハガキ

▼寄附金 47万0,360円

●ありがとうございました。

賛助・特別会員の お知らせ

お知らせ

(平成27年1月16日〜平成27年2月15日までの加入分)

1口 1,000円

○賛助会員

- 〔5口〕▽進藤龍善
 - 〔3口〕▽佐藤邦男▽大橋志朗
 - ▽藤原雪子▽谷岡泰好▽小野山睦子▽岸研治▽吉谷進▽松原裕子▽足立純子▽丸山賀代子
 - 〔2口〕▽荒木みさ子▽田村薫
 - ▽安達繁▽片岡智加之▽匿名
 - 1 〔1口〕▽進元勝子▽村上好一▽岸よし子▽朝熊好子▽太田垣明宏▽小野山登志枝
- 【順不同・敬称略】

賛助・特別会費の募集は、年間を通じて行っています。

この会費は、社協活動を通じて、養父市の幸せづくりに役立てられます。

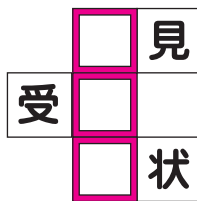


図書カードが当たる！

パズル

□にあてはまる漢字の文字を考えて、ことばを完成させましょう。

■ヒント この時期は、くしゃみ、鼻水、鼻詰まり、目のかゆみなどで大変な方もおられます。



■応募方法 はがきまたは、FAXに答えと住所、氏名、ふりがな、年齢、電話番号、「かけはし」をこぼれになったご意見・ご感想をお書き添えの上、ご応募ください。

正解者の中から抽選で5名さまに図書カードを贈ります。

■必 切 平成27年3月31日必着

■応募先 〒667-0022

養父市八鹿町下網場320

「福祉の杜」内

養父市社会福祉協議会

FAX 6662-0161

★前回の答えは

『百人一首』でした

- 守本 幸恵さん(大森)
- 植木 健さん(宮町)
- 森本 満枝さん(石堂)
- 坂本 和希さん(大数)
- 高橋 睦子さん(加保)

以上5名の方が当選されました。おめでとうございます。

総合相談所のご案内

いずれも相談無料

心配ごと相談・結婚相談

13:30~16:00

身の回りの困りごとや結婚に関する相談はありませんか？

- ◆ 3月27日(金) 関宮ふれあいの郷
- ◆ 4月3日(金) 地域交流センター「福祉の杜」
- ◆ 4月10日(金) 社協養父支部
- ◆ 4月17日(金) 大屋保健センター

弁護士による無料法律相談

13:30~16:30

先着6人の予約制となっていますので、事前に電話でお申し込みください。

- 期 日 平成27年5月20日(水)
- 場 所 地域交流センター「福祉の杜」
- 相談時間 1人30分程度
- 申し込み先 養父市社協本部 電話 662-0160

くらしの法律相談

8:30~17:00

消費者被害や訴訟問題、成年後見制度、福祉サービス利用援助事業などの相談を社協窓口で受け、担当弁護士に伝えて問題解決のお手伝いをします。

相談は、毎週月~金曜日までの常時、本部及び各支部で受付けています。



あきと
乗松 明杜ちゃん 2歳1ヶ月
(八鹿町京口・男の子)

うちげえの

宝

おじいさんの雅和さんに聞きました♪

◆名前はどのようにつけましたか？

明杜の「明」は、父・雅明の明、「杜」は奈良県宇陀市（神話の町）で生まれたため、神域の杜のイメージと字画数より決定しました。

◆今、興味をもっていることはなんですか？

まだ「まんま（ご飯）」ばかりだが、テレビはアンパンマンから日本の特急列車（新幹線やSL）に興味に移りつつあります。

◆おじいさんから一言メッセージ

食欲旺盛で元気いっぱい。このままのびのびと素直な子に育ててほしいです。

平成27年度 兵庫県ボランティア・市民活動災害共済

この共済・保険は、加入されたボランティアの方が自発的な意思に基づき、国内において他人や地域・社会に貢献するなど社会的に意義のあるボランティア活動中（往復途上を含む）の、万が一の事故に備えていただくためのものです。

【市民活動災害共済プラン】

加入対象者 兵庫県社会福祉協議会および兵庫県下各市区町社会福祉協議会に加入された団体および個人ボランティア

掛 金 1人 500円

補償期間 平成27年4月1日~平成28年3月31日

※4月1日から加入を希望される方は3月31日までにお手続きください。

4月1日以降に加入の場合は、補償期間は手続き完了の翌日からとなります。



【天災危険補償プラン】

掛 金 1人 600円

※天災危険補償プランは、天災（地震、噴火、津波）によるケガも補償します。

詳しくは下記までお問い合わせください

【窓口・問い合わせ先】

養父市社会福祉協議会 電話：662-0160



この広報紙は共同募金配分金が使われています。